

基本理念

草加市立病院は、市民のいのちと健康を守り、地域医療の中核を担うことを使命とします。

草加市立病院

医療危機を乗り越える!

年間外来受診者数は草加市の人口とほぼ同じ



近年、高度医療を必要とする診療が増えるとともに、専門医志向が高まり、市立病院を受診する患者さんが増加しています。このような中、当院では診療体制を充実させるため、医療スタッフを毎年増員しています。しかし、症状が比較的軽い患者さんも市立病院に集中しているため、二次医療機関としての役割が十分に果たせないだけでなく、診療体制の崩壊も懸念されています。

診療の充実を図るため 医療スタッフを増員

平成19年度の当院の延べ外来受診者数は、草加市の人口にほぼ匹敵する22万0465人、延べ入院患者数は8万7676人でした。当院ではこの状況に対応するため、関連大学の東京医科歯科大学に医師派遣の要請をするほか、看護師を随時募集するなど医療スタッフの確保に努めています。

緊急手術に数多く対応

市立病院は二次救急医療機関として、24時間365日、入院や高度医療を必要とする重症の患者さんの救急診療を行っています。脳神経外科においては、

同科が扱う疾患の性格上、救急患者が多く、一刻を争う緊急手術が全体の6割以上を占めています。また、「脳神経外科の医師3名が年間約190件の開頭手術を行っています。この件数はおそらく県内ではトップクラス」と高元病院長は話します。

小児夜間二次救急の 当番日が年間の約43%

小児科では草加・越谷・八潮・三郷・吉川市、松伏町に点在する複数の病院で構成する輪番制(当番制)の夜間二次救急医療に参加しており、夜間や休日に同地域内の重症の小児救急患者を優先的に受け入れています。平成19年度は4病院が参加しましたが、市立病院が当番日となったのは157日。年間の約43%を占めました。

患者さんのニーズは 多様化

このように医療スタッフは昼夜を問わず懸命に診療にあたり、現在の医療環境を維持しています。特に救急医療においては、担当スタッフはほとんど不眠不休で働き、翌日も患者さんの外来診療や病棟業務があるため、必ずしも休めるわけではありません。そのような中、当院の外来を受診する患者さんが年々増加しています。これは医療技術の進歩や病院情報の開示が進む中で、高度の医療機器や技術が必要とする診療が増大し、同時に診療を受ける患者さんの「子どもを小児科専門医に診てもらいたい」「内科領域でも専門医の診察を受けたい」という専門医志向が強まり、地域の診療所や医院で

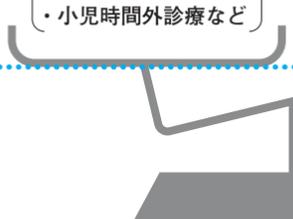
医療スタッフを増員しても厳しい状況

ニーズの多様化による 患者さんの増加

- 高度で専門的な治療
- 専門医志向
- 小児時間外診療など

市立病院の 医療スタッフ増員

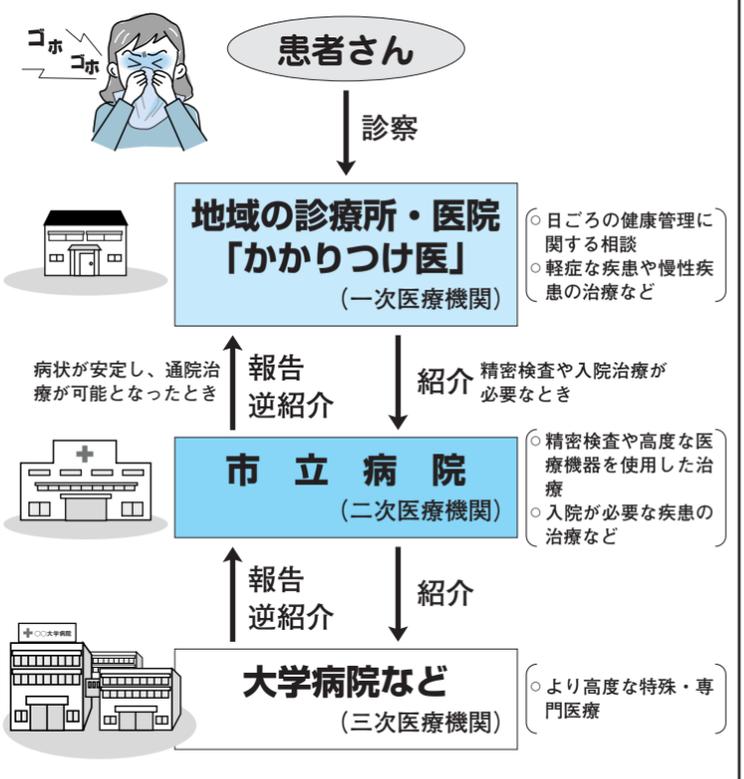
追いつかない部分



このような重症の小児救急患者の受け入れを含め、市立病院小児科の平成19年度の時間外診療受診者

数(休日や夜間帯における受診者数)は7747人で、全診療科の時間外診療受診者数の約48%でした。

地域医療連携のしくみ



このままでは診療 体制の崩壊も

この状況が続く、軽症の患者さんが集中して診察に訪れた場合、人手が足りなくなり、突然起こりうる心臓発作や脳血管障害など、本来市立病院が担うべき重症な患者さんへの高度医療の提供に支障をきたすこととなります。そのため、各診療科にいくらか医師や看護師を配置しても、この厳しい状況から脱却できず、診療体制の崩壊につながりかねません(上図参照)。

多様なニーズに応える ために一層の 地域医療連携を推進

市立病院では、現状の診

療体制をさらに充実させ、患者さんの多様なニーズに応えていくため、医師会などの協力のもと、市立病院と地域の診療所・医院、大学病院などがそれぞれの特色や強みを生かしながら、それぞれの役割を分担して地域の医療を支える「地域医療連携」に取り組んでいます。

医療危機を乗り越える ために

これは、患者さんの病気の内容や程度によって、医療サービスを提供する形態を一次医療機関、二次医療機関、三次医療機関の3つに分け、患者さんに最適な医療機関で受診していただくものです。市立病院は二次医療機関に該当し、市立病院や地域の診療所・医院、大学病院などの医療スタッフが協力して患者さんの診療にあたります(右図参照)。

高元病院長は、「病院の医療スタッフは無限ではあ

りません。市立病院で重症の患者さんが安心して高度医療を受けることができるよう、地域の診療所・医院と市立病院の役割の違いをご理解いただき、比較的軽症な患者さんはまず地域の診療所や医院で受診していただき、必要に応じて市立病院に呼びかけています。

市立病院では医療危機を乗り越えるために、これからは医療スタッフの確保だけでなく、草加八潮医師会との協力による小児夜間救急診療の検討など、市民の皆さんが安心して市立病院に診察を受けられるよう、市民の皆さんにも病院の現状をご理解いただくとともに、安定した医療環境を維持できるように協力をお願いします。